



6年生修学旅行 part2

6年生の修学旅行の二日目は、朝からお土産を買いました。財布の中身と商品の値段と、ハウステンボスで遣いたいことも計算しながらお土産を買っていきました。その後、無窮洞（おきゅうどう）という防空壕の見学に行きました。ここは、第二次世界大戦中、当時の教師と小学生たちが掘った巨大な防空壕です。中は幅約5m、奥行き約20mで、子供たち500人が避難できたという程の大きさです。見学を終えた6年生の子供たちは「あれを小学生が掘ったということが信じられないです。」「戦時中にこのような空間を子供たちの手で作ったということが信じられないし、こんなものが必要なほど戦争で追い詰められていたんだと実感しました。」と感想を述べていました。

その後、6年生が一番楽しみにしていたハウステンボスに行きました。ハウステンボスは幸いなことに、観光客が少なく、子供たちの動きもスムーズでした。また、天候にも恵まれ、風も吹かず暖かく感じるほど観光日和でした。子供たちは様々なアトラクションを体験したり、ランチを堪能したりと十分にハウステンボスを満喫しました。

解散式では修学旅行の振り返りで「私は『👓 帯西ブルー』の心が伸びました。昔の人は力を合わせて防空壕を作ったり、生きていくためにいろいろな工夫をしたりして凄いと思ったからです。（中略）今回の修学旅行で、今ある平和は当たり前ではないことを改めて知りました。今回の経験をこれからの学校生活に活かしていきたいです。」「👓 帯西グリーン』の心が伸びました。わけは、自分だけで行動するのではなく、班のみんなで力を合わせて考えながら行動したからです。この経験を活かして、6年生として責任のある行動をとっていきたいです。」という声がありました。子供たちの声からも「学びを修める」一泊二日の素晴らしい旅ができたことを実感しました。



わくわくチルドレン紹介

「第3回絵はがきデザインコンテスト『忘れない、あの日のありがとう。』というFM大阪主催のデザインコンテストが開催され、それに応募した5年生の猿渡 仁さんの絵はがきが、見事「佳作」に選ばれました。猿渡さんは、11月30日(土)に行われた東京での授賞式に出席しました。猿渡さんは「転校して来る前の小学校の友達をイメージして描きました。その友達と遊んでいるときに、僕がけがをしまい、友達が助けてくれました。そのときのことを『忘れない』思い出として描きました。」と絵を仕上げた原動力について教えてくれました。また、「受賞して、これまで絵には自信がなかったのですが、絵に少し自信がもてました。」とも述べています。素晴らしい思い出を素直に絵はがきに表現した結果、見事に賞を受賞しました。本当におめでとうございます。

